

1. 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

この調査の調査項目は以下の7項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) 東大阪市の広報活動について

市政に関する情報の入手先、「東大阪市政だより」を読む習慣、
広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況、東大阪市のウェブサイトのアクセス経験、
東大阪市のウェブサイトでの情報の探しやすさ、東大阪市のウェブサイトでの情報の見つけ方、
東大阪市のウェブサイトに期待する情報

(3) 文化に対する関心や東大阪市の文化施設について

過去2年以内に参加した文化芸術の催し、文化芸術の催しに行かなかった理由
東大阪市内で増えてほしい文化芸術活動の分野、文化施設の利用経験・認知度、
文化施設を知っているが訪れたことがない方が訪れるために必要だと思う取組み

(4) 東大阪市の観光振興について

東大阪市の誇れる地域資源の有無、効果が期待できる観光振興の取組み
旅行者が増える地域になることへの考え、国内外の旅行者との交流を望むか
旅行者が多いまちになることで市民としての誇りや愛着が高まるか

(5) 「景観」について

地域の景観への意識、東大阪市の好きな景観
建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を戸建住宅にも導入すべきか
充実をめざして取り組むべき街並み、「景観まちづくり」に参加したいと思うか

(6) 健康に関する生活習慣について

たばこを吸っているか、たばこをやめたいと思うか、アルコール飲料を飲むか、
1日に飲むアルコール量、節度ある適度な飲酒量の認知、
1日30分以上の運動を週2回以上行っているか、1年以上継続しているか

(7) 識字について

読み書きができる程度、読み書きに不自由している方を知っているか、
読み書きに不自由している方の識字程度、識字問題に対して市が取り組むべきこと、
識字問題への取組みの充実度、識字問題への取組みの重要度

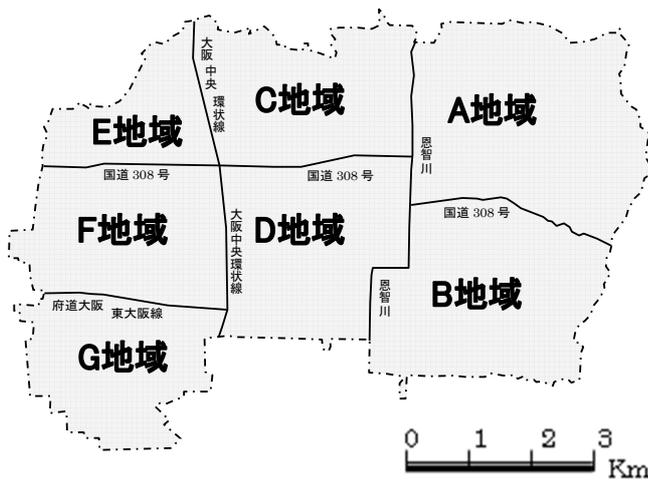
3. 調査設計

- (1) 調査地域 東大阪市内
- (2) 調査対象 市内全域在住の満 20 歳以上の市民
- (3) 標本数 2,705 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査法（督促状 1 回発送）
- (6) 調査期間 平成 28 年 7 月 4 日（月）～平成 28 年 7 月 20 日（水）

4. 回収結果

- (1) 配布数 2,705 票（100.0%）
- (2) 回収数 1,410 票（52.1%）
- (3) 有効回収数 1,408 票（52.1%）

5. 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	310	170	54.8%
B地域	362	194	53.6%
C地域	342	164	48.0%
D地域	523	278	53.2%
E地域	188	108	57.4%
F地域	543	279	51.4%
G地域	437	215	49.2%
合計	2,705	1,408	52.1%

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が 100.0% とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100.0% を超える場合がある。
- (3) 比率 (%) は、その回収数を母数として算出している。
- (4) 各質問の回収数は (N=) として示している。
- (5) 数値に関する記述は下記の基準にしたがっている。

- 例：約 3 割 30.0～30.9
- 3 割強 31.0～34.4
- 3 割半 34.5～36.0
- 4 割弱 36.1～39.9